

## 児童・教師双方の視座を取り入れた 理科教育法授業の試み

福井広和 (FUKUI Hirokazu)

Attempt of science lessons Education Act  
that incorporates the perspectives of children and teachers both

就実大学 (Department of Elementary Education)

**要約** 本研究は、理科教育法における模擬授業において授業者・児童役・観察者の3役を設け、授業後にそれぞれの立場から意見を出し合うことで児童・教師双方の視座を養う授業運営法についての試みである。教師の理科に対する苦手意識が問題視されるなか、小学校教員養成課程学生に実験・観察の技能を習得させることは不可避であるが、これまでの多くの研究は実験器具を操作する児童の視点か、あるいは指導する教師の視点に偏っていた。そこで学生の役割を分担し、それぞれが得た知見を交換する授業運営法を試みた。視座の異なる意見を交流することで指導法に対する理解が深まることが確かめられたが、同時にいくつかの課題が明らかになった。

**キーワード** 理科教育法 模擬授業 実験・観察の技能 授業観察 教師の理科嫌い